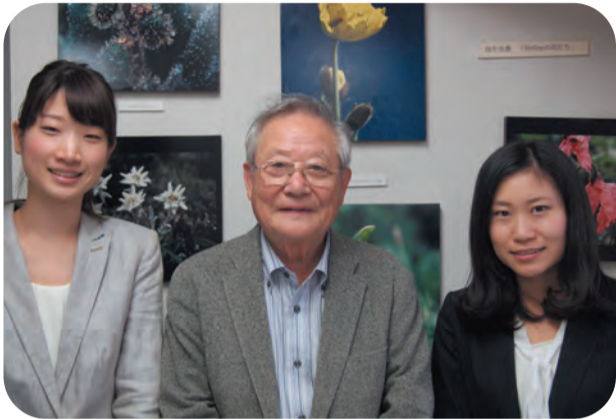


創業50周年記念 特別企画

三上 満さん インタビュー “社会と旅と人をつなぐ文化”



左から、山崎、三上さん、西須

“旅は文化”とは

西須：本日はどうぞよろしくお願いいたします。早速ですが、「旅は文化」と三上先生が講演などでお話される意味は、一体どういったものでしょうか。

三上：「人は文化によって育つ」と言われるように、人間はいろいろな文化を吸収しながら育つ中で、そのうちの大変大きな要素を旅が持っています。これは私が言っているのではなく、フランスの大啓蒙思想家であるジャン・ジャック・ルソーが『エミール』という教育論の中で語っている言葉なんですね。第5編でエミール少年が青年になっていく過程を描いている最後の部分『旅について』でこう書かれています。

「書物の悪用は学問を殺す。読んだことは知っているのだと思い、自分はもう学ぶ必要がないと思ってしまう。読んだことをそれ以上知る必要がないと思ってしまうんですね。本というものは素晴らしいものだが、限界があるんです。本だけでは本当の世界を知ることができない。書物は時に世界を忘れさせてしまう作用をしてしまうといっているわけです。世界は書物だけでは知ることができない。そういったことが『エミール』の最後にだあって書かれています。旅行社で働く方の必読文献です。こういうことも言っている。

「パリの人間は人間を知っているつもりだが、知っているのはフランス人だけだ」。私たちが東京にいて日本人と会っているだけでは、知っているのは日本人だけです。観察すべき事実はどんな種類の事でも読んではならない。見なくてはならない。」読むことと知ることは別なんです。実際に見たり経験しなければいけない



当社は1964年10月に設立し、今年創業から50周年を迎えます。『旅は、平和で、豊かで、文化的な社会を育みます』と社是に謳い、一貫して「社会と旅と人をつなぐ文化とはどういうものか」を問い続けてきました。

今回は当社の長きにわたるお客様であり、ご自身でも宮沢賢治の旅などを通じて『旅は文化』を発信し続けている三上満さんにお話を伺いました。

聞き手は営業部で学生の旅を担当している西須（さいす）と、教職員の旅を担当している山崎です。入社から5年目と2年目の若いスタッフですが、三上さんのお話を伺い、これからの旅づくりの大きなヒントを得られた時間となりました。

文責：編集委員会

というのがルソーの主張です。

西須：特に若い人にとって旅が必要だということでしょうか。

三上：ヨーロッパ、とくにドイツでは「Wandern(ヴァンデルン)」という習慣がありました。徒弟制だからみない弟子に入るわけです。ただ親方の仕事をまねているだけでは一流の職人にはなれない。いろんな親方の所を旅する。シューベルトの『美しき水車小屋の娘』という組曲でも歌われています。水車屋で修業した職人が旅に出て、別れてきた小屋の娘に想いを馳せることが組曲になっている。「ヴァンデルンは水車屋の願望だ」と、「ヴァンデルンに出ようとしない水車屋は良い水車屋ではない」とも歌われています。旅に出て見聞を広めて技術も磨き、時には恋もする。人格形成の一つとして若い人たちがヒッチハイクで旅に出るとか、プランを立てずに旅をするようなことは非常に良いことだと思います。ただ何となく旅をするのではなく、自分と向き合い困難にも立ち向かいながら大変な旅をしながら、青年の段階から大人の段階に上らせる。そういったことが語られているわけです。

旅で学ぶことの多様さ

西須：私も小学校六年生の時に富士国際旅行社の旅に参加してヨーロッパへ行くことで、ユダヤ人の虐殺などを知識としてではなく実感を持って知り、『旅の文化』を体験できたことが今の仕事に繋がっています。今学生の旅を担当していて大事だと思



っていることは、先生が生徒たちに何を伝えたいか、旅を通して何を教えたいか、ということが一つ、生徒さん自身が「こうやりたい」という意図を組んで旅を作ることです。行った後に生徒さんが感動して「自分の将来につながった」という感想を聞くと、とても嬉しいし、生徒さ



富士国際旅行社

新年あけまして
おめでとうござい
ます

本年もどうぞよろしくお願
いいたします
富士国際旅行社 社員一同



「旅は文化」

～ SINCE 1964 ～

んと先生がそれぞれの立場で作りに上げて、お互い感じることがあるのではないかと思います。

三上：私が校長をしていた東葛看護専門学校では、生徒たちが研修旅行の行先を自分たちで決めています。生徒たちはどこへ行くのか必ず喧嘩をして泣いたりするんですね。平和を学びたい人と観光したい人とかで別れてしまったりね。だけれど旅を狭く考えるとつまらなくなってしまう。ベトナムへ行って戦争のことしか学ばないという態度では世界が狭くなってしまふ。「自分は戦争と平和について学びに来たんだから、水上人形劇は観たくない」という若者がいましたが、水上人形劇だって平和だからできることであって戦争と無関係ではありえないんですね。自分の受け入れる幅を自分から狭くしてしまうと、もったいない。旅の目的や狙いも大事だけれど、同時に思いもかけぬこと、思いもよらぬ出会いがある。そういったことを受け入れられることも大事ですよ。戦争と平和ということだけでなく、文化や環境、産業など、いろんなことが交じり合って旅を豊かにしていくんですね。



山崎：私は教職員組合のツアーで、今年の夏にフィリピンへ添乗しました。先生たちと一緒にいき、稼働されていない原発をみたり返還された基地跡をみたり、たくさん事を学びました。教職員の方たちは長時間労働であったり、夏休みでも長期休暇を取れない状況も

(2面に続く)

旅は文化 ~ since 1964 ~

ホームページ : <http://www.fits-tyo.com>
富士山写真提供 : 平 修氏

CONTENTS

- 創業50周年記念特別企画 三上満さんインタビュー
- 社会と旅と人をつなぐ文化1・2
- 年頭のごあいさつ1
- “学び+旅のすすめ”旅のがっこう2
- ダニエル・オルテガ後のニカラグア3
- 旅のご案内「中南米・アジアの旅、環境・エネルギー」3
- Book Guide3
- 宮本和郎先生インタビュー
- 自然との共存、共生をかんがえる4
- 連載 世界の子どもを児童労働から守りたい5
- 添乗員がゆく！ 民主化するミャンマー5

- 歴史と向き合う旅・アウシュビッツとドイツ6
- 旅のご案内「注目のアセアン視察・交流の旅」6
- 旅のご案内「韓国、台湾、中国、ベトナム」6
- 旅のご案内「国内の旅」7
- イタリア料理7
- 社員登場7
- スタッフ募集・編集後記7
- 「世界の山々をあるく」集いと商品発表会、写真コンテスト発表8
- 旅のご案内「2014年春は初めてのヒマヤラへ！」8
- 「ヨーロッパ・アルプス」「世界の自然をあるく」8

2014年 年頭のごあいさつ

おかげさまで、今年の10月14日で創業から50年を迎えます。多くのお客様に支えていただき、ここまで続けてこられたことに、心から御礼申し上げます。

創業者である柳澤恭雄初代社長は、戦前はNHK報道部長を務め、玉音放送を流すことを阻止しようとする軍部の強要に対して、拒否を貫きました。大本営発表により本当の情報が国民に伝えられない時代に、世界を見て真実を知ることが平和な世の中をつくることにつながると考え、富士国際旅行社を創業したと聞いております。

私たちは、旅行業務をつうじ、平和な世界、民主的な社会の実現に貢献し、健康で文化的な旅行の発展を目指すことを経営理念に掲げております。“旅の文化”をこれからも守り、発展させていくことをモットーに、邁進いたします。

今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

富士国際旅行社 社長 太田 正一



宮本和郎先生インタビュー

自然との共存、共生をかんがえる

宮本和郎(みやもと かずろう)：プロフィール

1936年、東京・日野市に生まれる。東京藝術大学日本画科卒業。現在、日本美術家連盟、日本美術会、日本山林美術協会会員。著書に画集「スイス・アルプス花の旅」「墨で描く基本」画文集「山里の彩譜」「四季の花」シリーズなど。

聞き手：遠藤 茜(営業部)



遠藤：いま、どのような旅が求められているのでしょうか。

宮本：2011年に震災が起り、東京にも直下型の地震がくるのではないかと、富士山が爆発するのではないかと、という話がでています。将来、原発の被害も沈静化するどころかもっと放射能も広がるのではないかと感じてしまいます。

心配しながら生きていくよりはもっと、ゆとりを持っていきたいという雰囲気はかなり強まっているのではという感じがします。私も77才になりました。スイスに行き始めて、もう20年になるわけです。私たちの世代の人達もスイスに限らず、綺麗な景色を見ておいた方が良くという思いがあります。だから、旅行もそういった癒しの旅行のようなものがこれから必要とされるのではないのでしょうか。これまでの富士国際旅行社のドイツなどの戦争の傷跡、未来の社会進路、国のありかたを考える要素なども大切なのですが。

遠藤：昨年平和美術展には、外国の方も含めて、たくさんの方が来られていましたね。

宮本：前年が60回展だったこともあり、ひとつの節目として色々な企画をして宣伝をしました。去年よりも1000人ちかく多かったです。お年寄りや小中学生が増えました。それと外国人が増えました。上野の森には、博物館があったり動物園があったり、ちょっと行けば浅草もあります。その流れで外国の方が平和美術展にもくるという感じです。中には「私も日本語が話せる」という人がけっこういましたよ。

遠藤：外国の方が平和美術展に来られるのは、嬉しいですね。

宮本：日本は島国ですが、古来海流に乗って東南アジアや中国朝鮮を通して、日本に大陸文化が入ってきました。江戸時代には、外から流れてくる文化を非常にうまく取り入れ、自然と共存、共生してきたという歴史があります。一方、ヨーロッパは自然を支配して変革し、経済的に豊かな社会を求めてそこで文化を作ってきました。縄文時代は1万年以上も続きましたが、その間ずっと自然と一緒に生きていこうという生活を営んでいました。私達の中身の大半は縄文の血なのですよ。

遠藤：明治以前は自然との共存、共生ができていた感じがしますね。

宮本：明治維新で徳川幕府を倒し新しい体制を作った明治政府は、すっかりヨーロッパかぶれしてしまいました。アジアから脱出してヨーロッパの一員になるの

だと日本の文化を潰していききました。ヨーロッパの文化をそのまま無批判に受け入れていくという中で、豊かになるためには富国強兵でなければいけないという、当時の植民地政策によって豊かさを実現してきた価値観が入ってきました。それを鵜呑みにして日本は今まで朝鮮や中国などアジア諸国にひどいことをしました。

今まで海外に目を向けて、海外から何かを吸収したい、世界を知ろうということで富士国際旅行社の旅が成り立ってきたと思います。これからは、日本の姿を紹介するような旅はいかがでしょうか。私は、日本に来た外国の人と接点を持つ機会が

何度かありました。日本の美術を見たいという方を案内して浮世絵版画の展示場に行って写楽・北斎などを見ていたら涙をポロポロと非常に感激されて……私が日本の画材屋に連れて行ったときには、和紙と最低限の墨であるような絵が描けるのかと感動していました。

幕末から明治にかけてのパリ万博に工芸品として出品された陶器の包み紙に刷られていた浮世絵版画を向こうの人たちがみて、陶器よりもこれは何だということによって日本美術のブームがおこったわけです。ヨーロッパは優れた文化をもっているのですが、行き詰まりもあります。自分たちのものとは異なるアジアの日本で、非常に素晴らしいかたちで発展してきたものを吸収したいという良識的な人たちがかなりいます。それを日本はまた逆輸入してくる。例えばゴッホだとかセザンヌは、ヨーロッパ以上に日本への評価は高いです。

遠藤：お互いの国の価値観をわかりあうような旅が必要ですね。先生が言われた、自然との共存、共生を考えるテーマも大事にしていきたいです。

宮本：自然との共存、共生というこの側面をもっと大事にしていけないといけないと思います。弱肉強食という食物連鎖の中で動物であれ、植物であれ、何か他の生物の命を奪わなければ、生きていけないわけです。でも、力の強いもの、権力者が何をしてもよいのか。そんなことをしていたらとくに地球上の生物が衰退したはずですが。しかし、発展してきた背景には、棲み分けや共存、共生、相互利益というかたちがあったのだと思います。今は、共存してきたところに人間が自然の中に勝手に入って行ってしまっている現状があります。このことは、日本列島の中で生きていくう



<山野の秋果>

えで、人類が他の植物とかこの地球と共生していくための力量をこれからはもっと重視していかななくてはならないという生き方を示してきていると思います。だから日本人はその気づきを大切にすることです。ヨーロッパではもう気付いて、例えばドイツですが、自然を復活させようとしているわけでしょう。だからそういった日本の良さを知ってもらいながら、さらにヨーロッパと良いものをもっと共有することが大切です。

富国強兵とは違ったかたちの豊かさがヨーロッパにもいっぱいあるわけですよ。そういうものをちゃんと選別して、吸収してくる。それによってヨーロッパの人たちが、自分たちの優れたものと、日本のいいものをまた吸収しようとする相互の心の交流のようなものをしてほしい。そうした社会との問題も含めながら何を海外で見て考えるのか、そういう旅行を富士国際旅行社は手掛けてきたと思います。

遠藤：当社としては大変嬉しいお話です。

宮本：今、世の中は科学も含め凄い勢いで進んでいます。科学には良いこともあります。そんなに急ぐ必要があるのでしょ。新しいものを求めるあまり古いものを失いそうになっているのではないかと。私は、植物を中心に里山の生活などを描きながら、自然と共生する生き方の大切さなどを絵を通して描いていきたいと思っています。これからの旅はただ外国から何かを吸収してくるだけではなく、日本人の姿をもっとヨーロッパやいろいろな国の人達に見て知ってもらい、そういう旅があってもよいのではないのでしょうか。

遠藤：今日は貴重なお話をどうもありがとうございました。



<寄せ祀られた道祖神>



<アイガータ焼け>

個展のご案内

東京・府中市美術館・市民ギャラリー
 四月二日(月)〜二七日(日)
 お問い合わせ先：〇四二一三三六―三三七一

連載 世界の子どもを見守りたい

認定NPO法人ACE(エース) 白木朋子

大学4年生だった1997年12月のとある日、東京千代田区の居酒屋で、私たちACE(エース)は産声を上げました。メンバーは学生5人。まさか16年後もこうして活動を続けているとは思いませんでしたが、貧困の中で生きるために働くことしか選択肢のない子どもたちのことを知った時の衝撃と、学生としてできることは自分たちの目で見えてきた現状や子どもたちの声をひとりでも多くの人たちに伝えることだ、という強い想いが原動力となりました。当初は6カ月限定の活動だったはずが、いろいろな経緯があり、ボランティア団体として働きながら活動を数年続けた後、2005年に法人化し、今に至ります。

もうすぐバレンタインの季節がやってきますが、ここ数年力を入れている活動が、チョコレートを通じた活動です。原料のカカオは中南米が原産の熱帯地域に生育する植物で、世界のカカオの約7割は西アフリカで生産されています。日本が輸入するカカオの8割はガーナ産で、その生産現場でも児童労働や近隣諸国

らの子どもの人身売買が問題となっています。

日本の子どもも大好きな甘いお菓子の裏にある苦い現実を、日本の消費者や企業に伝え、一緒に問題を解決していこうというプロジェクトを2009年から行っています。ガーナの村で子どもを危険な労働から守り教育を支援する活動を実施するほか、日本ではフェアトレードのチョコレートを販売したり、『バレンタイン揆』という映画を作って全国で上映会を行ったりしています。森永製菓の「1チョコfor 1スマイル」活動とも連携していて、『DARS』などの対象商品の売上の一部がACEのガーナでの活動への支援につながります。バレンタインの期間限定で、ガーナの支援地域で採れたカカオを使ったチョコレートも発売されます。

日常生活の中でいかに問題を知ってもらえるか、身近な方法で支援をしてもらえるか、日々奮闘しています。ぜひ今年のバレンタインデーには、子どもたちの支援につながるチョコレートをプレゼントしてみたいかたがいませんか？ (しろき ともこ)

◎チョコレートのご購入やカカオ生産地の児童労働については、認定NPO法人ACEホームページ、「しあわせへのチョコレートプロジェクト」(www.acejapan.org/choco/)をご覧ください。



カカオ農園でカカオの実を集める少年(2010年、ガーナ)



学校で元気に勉強する女の子(2010年、ガーナ)

添乗員がゆく! 民主化進むミャンマー

乾季に入った11月、観光にはベストシーズンとされるミャンマーを訪れました。

ツアー第一弾：2013年11月6日～11月12日実施

ミャンマーといえば、長く軍政下であって、20年ぶりの総選挙を経て2011年、ティン・ウ政権が発足。政治犯の釈放やメディアへの事前検閲制度の廃止といった民主化改革を進めています。富士国際旅行社として、初めてツアーを企画しました。

日本企業も含め、多くのグローバル企業がミャンマーへの本格的進出をはじめました。この10月には全日空の直行便も就航しています。現地では企業視察が相次いでおり、大都市ヤンゴンのホテルは、予約もかなり先までうまっているとのこと。(!)
「観光のお客さんが増えるのはまだまだこれからですね」と、ガイドのティンさん(女性)。街中には、建設中のホテルがいくつも立ち並んでいました。

「民主化が進んで、暮らしの中で変わったと感じることはなんですか？」との問いには、「自分の意見を自由に主張できる雰囲気になったことですね。」とティンさん。民間日報の発行が半世紀ぶりに復活し、人々の様子も変わりつつあるようです。街中で行われるデモも増えてきたとか。「ただ、自分の主張が通らないうえなんでもデモをすればいいというものではないですね。国の規範やモラルが守られていなければ、ただのわがままになってしまいます。「民主化のための学校」が必要ですね。」

国が大きな変化を遂げる中で、民主化の立役者として強い人気を持つアウンサンスーチーさん率いる、国民民主連盟(以下NLD)の役割も変化しつつあります。

今回の旅では、NLDの党事務所も訪問しました。民主化が進む現状とこれからの課題についてお話をうかがいました。

交流では、ティン・ウ副議長との懇談も実現!みずからも政治犯として10年にもわたって投獄された経験もつティン・ウ氏は、1988年の結党以来の歴史を熱く語りつつ、NLDの今後の課題についてもお話しくださしました。

「2014年にはASEANの議長国を務めます。今、ミャンマーに求められているのは、ASEAN経済共同体の設立に向けた市場経済化の促進や、それに伴う投資環境整備のための司法制度の整備です。教育や保健衛生も優先度の高い問題。日本にもおおいに力を貸してもらいたい」とのこと。とくに、インフラについては、電力供給がまだまだ不安定なので、早急に整備が求められているそうです。現地で購入した日本人向けの雑誌には、「電力インフラ改善は、官民を挙げた日本の「良心」にかかると、一面に大々的に見出しがでていました。ただ、企業の参入にあたっては、ミャンマーの現状と企業の思惑には大きな隔りがあるようで、今後の展開



党事務所にはアウンサンスーチーさん関連グッズがずらりと並び



ティン・ウ副議長(85)

が注目されます。2015年の総選挙結果によっては、政権獲得とアウンサンスーチー氏の大統領就任も視野に入ってきます。

「ミャンマーはまだ民主化への道を歩みはじめたばかり。日本の皆さんにもあたたかく見守っていただき、力になってほしい」ティン・ウ副議長は力強い言葉で交流の最後をしめくりました。

2014年ASEANの議長国就任、2015年大統領選挙を目前に、急激な経済成長をとげるミャンマー。今後、ミャンマーがどう変わっていくのか、目が離せません。(SS)



「ヤンゴン・プレス」1面

民政移管より3年、2015年総選挙まであとわずか

ミャンマー(ビルマ)を訪れる旅 7日間

6月19日(木)～6月25日(水) ¥268,000
11月20日(木)～11月26日(水) 後日発表
募集25名(最少催行15名) 添

成田 ✈ ヤンゴン② ✈ バガン② ✈ マンダレー① ✈ ヤンゴン ✈ ①成田

- ◇政治、経済、著しく変わりゆくミャンマーの現状を見る
- ◇ヤンゴンにて国民民主連盟(NLD)関係者との交流予定
- ◇ビルマの日本人墓地、慰霊塔を訪問。日本軍の侵略について考える
- ◇「世界三大仏教遺跡」バガンの雄大な仏塔群、古都マンダレーも見学

市民が主人公のまちづくり

「創造都市」ボローニャの街づくり8日間

3月11日(火)～3月18日(火) ¥324,000 力
4月15日(火)～4月22日(火) ¥324,000 力
5月20日(火)～5月27日(火) ¥348,000 添

募集15名(最少催行6名/5月は10名)

成田 ✈ (経由) ✈ ボローニャ④ ✈ フィレンツェ② ✈ (経由) ①成田

- ◇市民が主人公の「ボローニャ方式」の街づくりを視察
- ◇知的障害者の方々が営む「イル・モンテ」を訪ねます
- ◇フィレンツェの芸術とレジスタンス運動のゆかりの地を見学

新緑の季節の音楽祭♪ クラシックコンサートと古都の旅

プラハの春音楽祭「わが祖国」チェコとドイツの旅8日間

5月8日(木)～5月15日(木) ¥390,000
募集20名(最少催行15名) 添

成田・大阪・名古屋 ✈ (経由) ✈ プラハ③ ✈ ドレスデン ✈ ライプツヒ① ✈ ベルリン② ✈ (経由) ①成田・大阪・名古屋

- ◇毎年恒例の5月の音楽祭で今年はチェコフィルの「わが祖国」鑑賞
- ◇ドイツ ベルリンでベルリンフィルコンサート鑑賞
- ◇プラハ3泊、ベルリン2泊、ライプツヒとドレスデンを巡る

ホロコーストの歴史と戦後補償の取り組み学ぶ

戦史と向き合う～アウシュビッツ・ベルリン～ 8日間

4月22日(火)～4月29日(火) ¥368,000
5月27日(火)～6月3日(火) ¥368,000
募集20名(最少催行10名) 添

成田 ✈ (経由) クラクフ① ✈ オシフィエンチム② ✈ クラクフ ✈ ワルシャワ① ✈ ベルリン② ✈ (経由) ①成田

- ◇ホロコーストの象徴アウシュビッツとビルケナウを2日間じっくり見学
- ◇ドイツでは戦後補償の取り組みに学びます
- ◇ドイツの現状や他国から見た日本について現地の方と交流

添乗員同行! 戦争と平和を考える旅

アウシュビッツを訪れるポーランド6日間

3月26日(水)～3月31日(月) ¥294,000
募集20名(最少催行10名) 添

成田 ✈ (経由) クラクフ① ✈ オシフィエンチム② ✈ クラクフ ✈ ワルシャワ① ✈ (経由) ①成田

- ◇ホロコーストの象徴アウシュビッツとビルケナウを2日間じっくり見学
- ◇中世の姿を残すクラクフ、戦後市民の手で再建されたワルシャワを見学
- ◇平和を学ぶ学生が集まる、NGO「国際青年交流センター」を訪問!

新軍事協定にゆれるフィリピンを訪ねる

市民の力で米軍基地撤去、原発停止を遂げた国 6日間

3月24日(月)～3月29日(土) ¥226,000
4月21日(月)～4月26日(土) ¥228,000
6月2日(月)～6月7日(土) ¥228,000
募集15名(最少催行10名) 添

成田・関空 ✈ マニラ ✈ スービック② ✈ マニラ③ ✈ 成田・関空

- ◇米軍基地を撤去して22年を迎えたフィリピンを訪問
- ◇基地撤去、原発稼働反対の運動に携わり、大きな役割を担った方々と交流
- ◇一度も稼働していない唯一内部見学ができるパターン原発を訪問

学んだ英語でアジアや平和について交流してみませんか

フィリピンで語学研修 8日間

4月7日(月)～4月14日(月) ¥194,000
募集15名(最少催行6名) 力

成田・関空 ✈ マニラ⑦ ✈ 成田・関空

- ◇世界で英語を話す人口が3番目に多い国で英語を学びます
- ◇旅行の後半では学んだ英語を使ってフィリピンの現状について交流
- ◇日本から約5時間の飛行時間!気軽に英語を学びに行けます

歴史と向き合う旅 アウシュビッツとドイツ

ヴァイツゼッカー元大統領と面談の機会も?・・・

国民学校一年生の会・事務局長 高岡岑郷



第二次世界大戦のとき、日本では子どもたちも戦力として利用するために、初等教育の内容を根本的に変えました。昭和16(1941)年4月から「尋常小学校」が「国民学校」に変わったのです。「皇国民の錬成」という天皇制軍国主義教育を徹底的に叩き込まれ、昭和20(1945)

年8月15日の敗戦後、教科書に「墨塗り」をさせられました。昭和22(1947)年3月まで6年間、その「国民学校」で学ばされたという「小学校に通ったことのない」稀有な年代の者たちが、昭和22(1947)年4月、戦後の新しい学校制度でつくられた「新制中学校」の第1回入学生になり、その年の5月3日に施行された「日本国憲法」を2学期に「あたらしい憲法のはなし」(文部省編)を最初に学んだのでした。「戦争放棄」の挿絵が鮮明に印象に残っています。

この希望の光に導かれて生き永らえて、現役生活をリタイアして余生をゆったりと楽しもうという年代になったとき、今から14、5年前、「平和憲法」を変えて日本を「戦争をする国」にしようとする動きが強まってきました。この世界に輝く「日本国憲法」を「無傷で孫子の世に手渡そう」という思いをつなげて、「国民学校一年生の会」をつくりました(1999年12月8日)。全国で約400人ほどの会員という小さな団体ですが、会員はそれぞれの居住地を中心に「九条の会」をはじめ、平和を守る運動などに関わっています。

結成以来14年の間に、機関紙を年間4回または5回ほど発行し、政治・社会・文化の問題に関わってさまざまなテーマで勉強会を開き、また、歴史と向き合っ民主主義を求める人民のたたかいを学ぶために、日本各地を探訪することもとりくんできました。さらに、日本がかつて植民地として朝鮮や台湾にも「国民学校」を強制したことや、さらに「満州国」をでっち上げてここにも「国民学校」をつくったことに目を向けて、日本が帝国主義時代に侵略の暴虐の限りを尽くした跡を実証するために韓国・台湾・中国を訪ねて見学と交流もしてきました。

今、私たち会員の大半は70歳代の後半であり社会的にも第一線を退いていますが、日本の政治の現状が歴史認識をめぐって憂うべき事態になっている現状から目を背けるわけにはいきません。昨年暮れに、第2次安倍晋三内閣が発足してから、日本の侵略戦争と植民地支配を正当化、美化する勢力が本性をむき出しにして、安倍首相は、国会で「侵略の定義は定まっていな」と発言するなど、国連の「侵略の定義に関する決

議」を否定するところまで来て、大きな国際問題にもなっています。

戦後の国際政治は、日本・ドイツ・イタリアがおこなった戦争が不正不義の侵略戦争であったことを共通の認識にしているのですから、安倍首相の立場が国際政治の中で受け入れられないことは明白です。

私がこのとき想起する事は、1985年5月8日にドイツの敗戦40周年にあたって、ドイツ連邦共和国大統領であったリヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー大統領が連邦議会でおこなった演説です。その全文は日本でも翻訳されて多くの人たちが感動に胸を震わせました。私もその一人です。今の日本の憂うべき状況の中で、日本の政治家が改めてこの演説の真髓を受け止めるべきだと痛感しています。

「問題は過去を克服することではありません。さようなことができるわけはありません。後になって過去を変えたり、起らなかったことにするわけにはまいりません。しかし、過去に目を閉ざす者は結局のところ現在も見えなくなります。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、またそうした危険に陥りやすいのです。そして「人間としての心からの和解」をよびかけました。ドイツと日本の戦後の国のありようの違いをここにみるのです。

あの侵略戦争でアジアの2000万人の人びとと、310万人の日本国民が犠牲になりました。日本人は、この事実をしっかり向き合っこそ、アジアと世界の人びととまともな関係を維持発展させることが出来ると思います。

私たち国民学校一年生の会は、このとりくみの一つとして2014年に、ホロコーストの検証としてのアウシュビッツ収容所見学とドイツの戦跡を訪ね、平和のための交流の旅を企画しています。構成メンバーの年齢的にも、会としての外国旅行の最後の機会となるかも知れません。また、漢字を言語として使用する日本文化の慣習的なものですが、80歳を「傘寿」という節目で祝います。会員の中心メンバーがその齢を迎えますので、「傘寿記念」と銘打っての企画としたいと考えています。

ついでに、ドイツを訪問する日程の中で、ヴァイツゼッカー元大統領とお会いする時間がもてたら、とお願いの手紙を出しましたところ、折り返し直筆サインの返事をいただきました。「(前略)・・・以前の敵対国との赦しのための私の発想に関心をもたれることには、私は喜びまたそのことを名誉といたします。ただし、2014年には私は95歳になります。年齢と健康が私の未来について確たる約束をさせることを不可能にしていることにご理解ください」ということでした。

2014年の訪独の時点一未来でなく一で可能となることを示唆されている返信ではないでしょうか。私たちの希望が叶いますよう願っての旅にしたいものです。国民学校一年生の会の会員だけでなく、ぜひご一緒しましょう。(たかおか しんごう)

国民学校一年生の会 企画

アウシュビッツとドイツ 平和と交流の旅 10日間

5月20日(火)～5月29日(木) ¥397,000

募集25名(最少催行15名)※

成田(経由)ワルシャワ① クラクフ② ベルリン② ドレスデン① ミュンヘン近郊の農家民宿② ①成田

- ◇ホロコーストの象徴アウシュビッツとビルケナウを終日しっかり見学
- ◇ドイツの戦後補償の取り組みを日本との比較で考える
- ◇ドイツの農家民宿に宿泊しグリーン・ツーリズムを体験

視察・交流の旅おまかせ下さい。注目のアセアン視察・交流の旅



近年、目覚ましく経済成長を続けるASEAN(東南アジア諸国連合)は、TAC(東南アジア友好協力条約)やARF(アセアン地域フォーラム)など、「紛争の対話による解決」の枠組みをまず域内につくり、それを域外にも広げています。「紛争を戦争にしない」「紛争の対話による解決」を原則とし、軍事に頼らない「平和的安全保障」という考え方を実践しているのがASEANの諸国です。激動するアセアン諸国との交流や視察は、今後の日本の運動に参考になるものと考えています。

是非この機会に、視察・交流の旅をご検討されてはいかがでしょうか?

富士国際旅行社のASEAN視察旅行はココが違います!

- ①日本と現地の視察先、交流団体の相互の連絡により、中身の濃いオーダーメイドの視察を手配いたします。海外提携先のネットワークを活用し、モデル日程・企画を提案いたします。
- ②通訳やコーディネーターの手配もいたします。必要に応じてその地域に詳しい添乗員やガイドを手配致します。
- ③現地の視察・交流だけでなく、旅の学校(視察前の学習会)を実施いたします。

『Peace,Green,Humanity』は、富士国際旅行社の経営理念を企画作りのモットーとして具体化したものです。創業50年を迎え、アセアン諸国の平和、教育、医療、環境などの視察・交流の旅の参考コースを作成しました。心通う仲間や労組、団体の学習・研修旅行にご活用ください。

韓国		3月24日(月)～3月27日(木) ¥115,000 4月14日(月)～4月17日(木) ¥118,000 5月19日(月)～5月22日(木) ¥121,000	濟州島 平和を考える旅 4日間	濟州島3連泊:日本統治下の戦跡、記念館を訪問。4.3事件の体験者のお話をきく。海軍基地建設中の江汀を訪問。ウォーキングで自然を楽しむ。
韓国		5月18日(日)～5月24日(土) ¥177,000	東部 古刹と伝統を訪ねる 7日間	ソウル～忠州湖畔～安東～河回村～大邱～慶州～釜山:2つの国立公園と李朝時代の民俗村をたずね、世界遺産を巡る。河回村では伝統家屋に宿泊。
韓国		3月14日(金)～3月19日(水) ¥160,000	南部忠清南道 「食」と自然の旅 6日間	ソウル～全州～靈光～順天～晋州～釜山:「医食同源」の伝統と自然農法を守る農民との交流、古寺と海と山の景色を楽しむ。
台湾		3月15日(土)～3月20日(木) ¥148,000 5月10日(土)～5月15日(木) ¥145,000	近代史と平和を考える旅 周遊6日間	高雄～日月潭～台北:明治政府最初の海外出兵の地「牡丹社」や、最大の抗日運動、「霧社事件」の現場を訪問。故宮博物院や九分など魅力ある地を満喫。
中国		4月12日(土)～4月17日(木) ¥158,000 6月14日(土)～6月19日(木) ¥165,000	東北部(旧満州)を訪ねる 平和・交流の旅6日間	瀋陽～ハルビン～大連～旅順:残留孤児養父母連絡協議会を訪問。平頂山事件、731部隊など日本軍蛮行の実相に触れる。日清・日露戦争の激戦地・旅順見学。
ベトナム		2名様から毎日出発!! ¥要相談	2人からのベトナム・カンボジア	北部 首都ハノイ(6日間)・中部 古都フエとホイアン(6日間) 南部 ホーチミン(5日間)・カンボジア・アンコールワット(5日間) *現地では学びを提供する質の高い日本語ガイドがご案内。発着空港もご相談ください
ベトナム		3月2日(日)～3月7日(金) ¥143,000	ベトナム スタディーツアー 6日間	ホーチミン～フエ～ハノイ:ホーチミンのツーザー病院、フエでは障がい者支援施設を訪問。ハノイでは枯葉剤被害者が暮らす国際友好村を訪問・交流。三ツ星ホテルでリーズナブルに。現地ガイドが同行します。

社会福祉法人 県央福祉会 30周年特別企画!

沖縄の旅

基地闘争の歴史と現在を巡る 4日間 那覇・名護・東村・伊江島	2月27日(木)発 ¥99,000 3月1日伊江島で行われる「わびあいの里」主催の学習会に参加!
琉球探訪 沖縄本島・伊江島 4日間 那覇・辺野古・名護・伊江島	3月23日(日)発 ¥99,000 4月20日(日)発 ¥96,000 5月25日(日)発 ¥96,000 南部戦跡・中部基地見学で沖縄戦の過去と基地問題の実態を知る。土地闘争の地、伊江島では反戦地主の方からのお話。
石垣島と与那国島・竹富島をめぐる 4日間 石垣島・与那国島・竹富島	3月23日(日)発 ¥148,000 4月20日(日)発 ¥143,000 5月25日(日)発 ¥143,000 石垣では戦争マラリアや教科書問題を学ぶ。自衛隊配備計画が差し迫る和那国島を訪れ、地元の方と交流。自然豊かな八重山諸島をめぐる。
沖縄本島と宮古島 平和・交流の旅 4日間 那覇・宮古島・伊良部・下地島	3月23日(日)発 ¥148,000 5月25日(日)発 ¥135,000 沖縄随一の美しさと称される宮古島ゆったり2連泊! 戦争遺跡や「慰安婦」問題について地元の方のお話を聞く。

自然をあるく旅

礼文島・利尻島の旅 5日間 初級 礼文2泊・利尻2泊	6月1日(日)発 ¥165,000 6月15日(日)発 ¥165,000 稚内直行便を利用し、各島に2連泊するゆっくりの旅。礼文島では花ガイド(宮本誠一郎氏)が案内。北の海の幸も楽しみ。
アポイ岳と襟裳岬 4日間 初級 襟裳町3泊	5月18日(日)発 ¥113,000 珍しい高山植物が咲くアポイ岳で、地元の方から、その保護や自然環境について話を聞く。新鮮な海の幸も楽しみの一つ。
白神山地をあるく 4日間 中級 深浦町3泊	6月15日(日)発 ¥106,000 8月3日(日)発 ¥119,000 緑が鮮やかな6~8月に、地元ガイド同行の安心の旅。不老不死温泉でくつろぎ、人気ローカル線・五能線に乗り。
高野山と熊野三山をめぐる旅 4日間 初級 高野山・川湯温泉・勝浦温泉	4月20日(日)発 ¥128,000 5月18日(日)発 ¥128,000 語り部の案内で、手付かずの自然が残る古道を歩き、古くからの温泉に宿泊。地元の山菜料理、マグロ丼も楽しみ。
屋久島自然体験 4日間 中級 安房3泊	3月23日(日)発 ¥136,500 4月20日(日)発 ¥129,000 5月25日(日)発 ¥129,000 添乗員・現地ガイド同行の安心の旅。屋久島ならではの星空・海亀ウォッチングツアーや地元の方に、自然や生活についてお話を聞く。

テーマのある旅

北海道 歴史探訪 4日間 小樽・当別町・札幌・夕張・長沼	5月25日(日)発 ¥98,000 野呂栄太郎没後80年。地元の関係者の案内でプロレタリア文学ゆかりの地、炭鉱労働の歴史を辿り、長沼ナイキ訴訟の地へ。
粟島・関川村を訪ねる新潟の旅 3日間 JR村上駅集合・粟島・関川村・寺泊・柏崎	6月7日(土)発 ¥59,000 場所場所での地元の人たちとの懇談を通し、自治体問題と道州制を考える。柏崎刈羽原発周辺見学。新潟ならではの料理やお酒もお楽しみに!
11名様限定! チャーター船で祝島へ 3日間 岩国・上関・祝島・柳井	4月13日(日)発 ¥98,000 オスプレイが配備された岩国基地を見学。地元の方たちとの交流を通し、原発問題と持続可能な社会の在り方を考える。
南九州平和の旅 3日間 知覧・指宿・鹿屋・飫肥・宮崎	4月20日(日)発 ¥92,000 特攻隊の基地跡を訪れ、地元と方のお話を聞く。薩摩の小京都と称される知覧武家屋敷の見学。九州ならではの温泉や郷土料理も楽しみ。
世界遺産 石見銀山を訪ねる 3日間 温泉津温泉2泊	3月12日(水)発 ¥98,000 4月20日(日)発 ¥95,000 梅と新緑のシーズンに、銀山経営を支えた鉱山町の街並みや坑道跡の龍源寺間歩をゆったり散策。出雲大社の見学も。

「福島へ行って 震災を忘れない」 福島原発・被災地を訪ねる 3日間

2月23日(日)~2月25日(火) ¥56,000
募集25名(最少催行15名) 添

- ①いわき駅現地集合 ②原発近接地域見学(いわき市、楡葉町、富岡町)
- ③いわき市泊④いわき市 郡山市(市内病院にてお話しと体験)
- 相馬市 相馬市内泊⑤相馬市 南相馬市見学(小高地区、浪江地区)
- 福島駅にて現地解散

◇原発近接地域を訪問と、原発立地反対運動の歴史を学ぶ。
◇福島市の病院にて、事故後の取り組みを聞き、体験する。
◇震災より約3年たった南相馬市の現在を見て、現地の方よりお話を聞く。

新 北海道 平和・交流の旅 道東をめぐる 4日間

6月1日(日)~6月4日(水) ¥118,000
募集30名(最少催行10名) 添

- ①羽田空港 ②釧路空港 ③根室市内見学(納沙布岬、元北方領土島民の方のお話)、根室市内泊 ④別海町(矢白別演習場、酪農家のお話し・見学)、屈斜路湖周辺泊 ⑤斜路湖(アイヌ民族問題をかんがえる)、知床見学(ウトロ、遊覧船)、ウトロ泊 ⑥羅臼、野付、根室中標津空港 ⑦羽田空港

◇北方領土問題をかんがえる~元島民の方のお話を聞く
◇矢白別演習場でたかひの歴史を聞き、地元の方と交流
◇知床世界自然遺産を遊覧船で見学、ウトロ温泉でゆったり

編集後記

50年と言うと、半世紀。一年一年の積み重ねがつついた長く、重みを感じる時間です。


私は戦争を直に体験していませんが、この仕事を通してたくさんの方の証言を聞き、史跡を訪れ、戦争と平和について考える機会を得ました。社長あいさつにある通り、私たちの旅作りのテーマである「Peace Green Humanity」の根底には、ジャーナリストであった創業者の戦争体験があります。同じ思いを後世に繰り返させないために、この会社が産声をあげてからの、50年目を迎えます。

国会では「秘密保護法案」が強行採決されました。私たちが皆さんと力を合わせ、旅を通じて育んできた文化は、不戦を誓った日本国憲法の理念と共にあります。二度と戦争をしない・させないことを謳った日本国憲法に真っ向から反するこの動きを、なんとしても止めないと決意しています。

「旅の文化」を、より一層発展させるためにも、創業者から脈々と続く志をもう一度、しっかりと確認したい。50年目の富士国際旅行社が、これからも皆さんの豊かな生活と共にあるように、精いっぱい努力してまいります。(K.H.)

レストラン文流の
スローフードへのごだわりをのこす
イタリア料理 **Buono!**

連載 16 Risotto con barbabietola
ビーツのリゾット



材料(4人分)

ビーツ.....200g	ブロード(出汁).....適量
玉ねぎ.....1/4個	パルミジャーノレッジャーノチーズ、
にんにく.....少量	バター.....各適量
イタリア米.....280g	オリーブ油.....適量
白ワイン.....適量	塩、こしょう.....各少々

作り方

- ①ビーツは皮付きのまま箸が通るくらいまでゆでる。その後皮をむき、米粒大くらいの小さなさいの目切りにする。
- ②鍋にオリーブ油を入れ、みじん切りにした玉ねぎとにんにくを炒める。玉ねぎが透き通ったら米を加える。人差し指を米にさしてみて、熱く感じるまで炒める。(この時、かき混ぜ過ぎると米が壊れるので優しく混ぜる)
- ③白ワインを米が浸るくらい入れる。強火にしてアルコール分を飛ばす。水分が無くなってきたらブロードを米が浸るくらい入れる。
- ④ビーツを加える。15分程度、水分が無くなったらブロードを足すことを繰り返し、米を炊き上げる。
- ⑤塩、こしょう、パルミジャーノレッジャーノで味を調べ、最後にバターを加えて混ぜる。
- ⑥器に盛り、上からパルミジャーノレッジャーノをかけ、別にゆでたビーツの葉を飾る。

Chef Gianluca PARDINI
Scuola Internazionale di Cucina Italiana di Lucca

こんにちは! 社員登場

入社二年目の谷藤麻衣子です。主に国内ツアーの企画・手配から添乗まで担当しています。添乗業務に際しては、「旅は、なんと豊かな風土と人びとにめぐりあわせてくれることだろう!」といつも強く感じます。また、参加したお客様との出会いからいろいろと学べたり、刺激をいただけるのもこの仕事の魅力です。

ツアーの中では厳しい現実を直視する企画もあります。基地建設のために土地を奪われた沖縄の方々、未だ解決されない北方領土問題で故郷に戻れずに翻弄される方々……。

しかし苦悩に満ちた現実にはしっかり根を張り、けっして希望を失わない一群の人々がいます。閉塞感が漂い、深刻な問題だらけの時代ですが、旅を通して希望と活路を見出せるような、旅作りを目指して精進していきたいと思っています。皆様とツアーでご一緒させていただける日を楽しみに。(たにふじ まいこ)



Peace Green Humanity

富士国際旅行社 旅行業務スタッフ 募集

正社員募集

平和・環境・福祉などの視察と交流の旅、自然・芸術・歴史にふれる感動の旅など、ほんものの旅づくりにチャレンジしてみませんか?

職種: 海外国内旅行業務全般

- ①2015年3月卒業見込の方
- ②2015年4月から働ける方(25歳位までの既卒者・転職希望者)
- ◆第一次応募締切: ①②2014年4月末
- ◆履歴書・自己紹介・志望動機(自筆800字位)をお送り下さい。
- ◆会社訪問: 2月より随時対応の予定です。お気軽にお問合せください。

パート・アルバイト募集

旅行業務(事務、PC入力、テリバリーなど) どなたでもできる簡単なお仕事です。未経験者可。4月頃からは働ける方。

- ◎学生(二部学生の方向け)
- ◎30歳くらいまでの方
- ◎週3日以上勤務できる方
- 9:30~18:00で実働5時間以上
- 時給: 870円~(経験による) 交通費支給(規定による)
- ◆まずはお電話でお問合せください。

最寄駅: JR新宿駅南口・中央東口より徒歩8分
東京メトロ丸の内線・都営新宿線・副都心線 新宿三丁目駅より徒歩3分

担当: 総務課 柳下(やぎした) 電話: 03-3357-3377
e-mail: yagishita@fits-tyo.com

「世界の山々をあるく」集いと商品発表会

●3月15日(土) 13時~16時
東京iciclub 神田 6F・EARTH PLAZA

●3月22日(土) 13時~16時 大阪会場
内容:ヨーロッパ・アルプス等、春~夏のハイキング、トレッキング、ウォーキング

今年のツアーをビデオや写真を通して説明いたします。「自分の体力でも楽しめるかしら」「山の気候や持ち物はどうしたらいいの」「どんな高山植物と出会うの」など、皆さんの関心・疑問にお答えします。山の装備について、ICIスポーツのスタッフの方にレクチャーもしていただきます。

◎詳細や参加ご希望の方は、事前にアルプス担当へ

上記以外にも下記日程で旅行相談会を予定しております。

個別の旅行相談をご希望の方は、事前にメールまたはお電話にてお申込みください。※完全予約制

- 1月25日(土) 13~16時 旅行相談会
- 2月 1日(土) 14~16時 山歩き講習会
・机上講座・登山の注意点・必要な装備とは
- 4月12日(土) 終日 山歩き講習会
・実践編! 日和田山ハイキング

会場 富士国際旅行社会議室 (ハイキングを除く)

お問い合わせ 電話、ファックスまたは
メール: alps@fits-tyo.com (鈴木)

「世界の山々をあるく」写真コンテスト

秋の写真交換会の投票で、ご参加の皆様の審査で下記の方々の写真が入賞となりました。

- ◎1等賞 水島 尚志様 (フラワー・ハイキング)
- ◎2等賞 大田中 房江様 (山上のヒュッテ泊りトレッキング)
- ◎2等賞 荒川 竹男様 (山上のヒュッテ泊りトレッキング)
- ◎3等賞 鬼原 芳枝様 (山上のヒュッテ泊りトレッキング)
- ◎4等賞 石田 雅章様 (フラワー・ハイキング)
- ◎5等賞 大平 久美子様 (山上のヒュッテ泊りトレッキング)

ご入賞の皆様おめでとうございます!



1等賞 「アイガーに昇る月」



2等賞 「次の目標はアイガー登頂だね!」



3等賞 「夕焼けのホルン」



4等賞 「ゴールデンマッターホルン」



5等賞 「野生のエーデルワイス見つけた!」



6等賞 「アイガー北壁をねらう!」

2014年春は 初めてのヒマラヤへ!

ブータン ヒマラヤの小さな仏教国、幸福の国ブータンの文化を訪ねます。絶壁に建つタクツァン僧院展望台へ小ハイキングも。

ブータン横断カルチャーツアー 8日間

2月19日(水)~26日(水)
¥365,000

燃油代金、空港税など約32,400円(変動あり)
募集: 15名(最少催行10名)
申込〆切: 定員になり次第



添乗員同行

ネパール アンナプルナやマチャブチャレの好展望地、オーストリアン・キャンプへ。のんびり、ゆっくり2泊3日のハイキング。山歩き初心者向き。

オーストリアンキャンプハイキング 8日間

2月19日(水)~26日(水)
¥310,000

燃油代金、空港税など約38,000円(変動あり)
募集: 15名(最少催行10名)
申込〆切: 定員になり次第



添乗員同行

総合パンフレット贈呈

ヒマラヤを舞台にしたネパール・ブータンのトレッキング・ハイキング・カルチャーツアーの総合案内パンフレット(2013秋~2014夏)を差し上げます。

請求方法 **無料**
●氏名
●年齢
●〒・住所
●電話番号
を下記までご連絡下さい。



◎ツアーの詳細のご案内・お申込書をご請求ください。

トレッキング・ホームページ <http://www.fits-tyo.com/himalaya>

Eメールご連絡先 nakano@fits-tyo.com <http://www.fits-tyo.com/himalayas>

<ヨーロッパ・アルプス>

春 アルプの春 いちめんの花を訪ねて スイス・アルプス6月花の旅 9日間

6月17日(火)~25日(水) ¥388,000
6月26日(木)~7月4日(金) ¥390,000
募集12名(最少催行6名) 添

成田・関西 (経由) チューリッヒ
カンダーシュテーク②
レッチェンタール②
ミュレン③
チューリッヒ ①成田・関西

◇いちめんの花の広がるお花畑を7箇所も訪ねる特別コース
◇秘境の谷レッチェンタールとカンダーシュテーク周辺の花畑へ



初夏 初夏のお花畑を歩き 名峰を眺める フラワー・ハイキング 9日間

6月24日(火)~7月2日(水) ¥392,000
7月1日(火)~7月9日(水) ¥395,000
募集12名(最少催行6名) 添

成田・関西 (経由) チューリッヒ
ベルン① ツェルマット③
ミュレン③ チューリッヒ (経由) ①成田・関西

◇ご家族でも初心者でも1~3時間のハイキングを楽しめます
◇6月は2000m以下の牧草地の花が満開
◇マッターホルンとアイガー展望の2つのホテルに各3連泊



「ヨーロッパ・アルプス 2014」2月発表!!

*スイス・アルプスのパンフレット及び料金の発表は2月上旬を予定しております。パンフレットをご希望の方は弊社までご連絡ください。(アルプス担当まで)

<世界の自然をあるく>

イナリでオーロラチャンス3連泊 フィンランド オーロラをたずねる旅 8日間

2月24日(月)~3月3日(月) ¥302,000
3月24日(月)~3月31日(月) ¥312,000
募集15名(最少催行8名) 添

成田・関西 (経由) ヘルシンキ①
ロヴァニエミ
イナリ③
サーリセルカ① ヘルシンキ ①成田・関西

◇北極圏のオーロラ観測地の穴場イナリに3連泊。
◇オーロラチャンスは4夜!
◇サンタクローズスエクスプレスに乗り、ロヴァニエミのサンタ村見学



イタリア・アグリツォーリスモに泊まる 春のトスカーナ・ウォーキングとスローライフの旅 9日間

4月17日(木)~4月25日(金) ¥376,000
募集10名(最少催行6名) 添

成田・関西 (経由) フィレンツェ②
ラダ・イン・キャンティ②
トラジメーノ湖畔③ ローマ ①成田・関西

◇世界遺産フィレンツェ、サンジミニャーノ、オルチャ渓谷など見学
◇静かな湖畔にたずむアグリツォーリスモにゆったり3連泊
◇トスカーナの田園風景を歩きながらスケッチや写真を楽しむ

ゆったり4連泊、ハワイの大自然から学ぶ ハワイ島ウォーキングと文化体験 6日間

4月18日(金)~4月23日(水) ¥298,000
募集10名(最少催行6名) 力

成田 (経由) ハワイ島④ ① (経由) 成田

◇現地ガイド長谷川久美子さんご案内! 最大10名限定の少人数の旅
◇キラウエア火山、マウナケアなど1日3時間程度のウォーキング
◇現地の方の家でホームパーティ、ハワイの文化にふれられる

オーランド島の春の花畑をたずねる フィンランド 森と花のウォーキング 7日間

5月7日(水)~5月13日(火) ¥418,000
募集15名(最少催行8名) 添

成田・関西 (経由) ヘルシンキ
トゥルク② オーランド島①
ヘルシンキ
ヌークシオ国立公園ハイキング
ヘルシンキ①
①成田・関西

◇現地在住の宮澤豊宏さん同行。植物の詳しい解説つき
◇タリンクシヤライン船に乗り、バルト海クルーズを楽しむ
◇春のオーランド島いちめんの花畑とヌークシオ国立公園のウォーキング



大自然の中のプリトヴィツェに3連泊 クロアチア ウォーキングと世界遺産 9日間

5月16日(金)~5月24日(土) ¥415,000
6月6日(金)~6月14日(土) ¥415,000
募集15名(最少催行8名) 添

成田 (経由) ザグレブ①
プリトヴィツェ③
スプリット①
ドブロヴニク② ①成田

◇世界遺産プリトヴィツェに3連泊ゆっくり2日かけてウォーキング
◇アドリア海に浮かぶ世界遺産ドブロヴニクに2連泊
◇イタリアの影響を受けたクロアチア料理は美味。海の幸もご賞味

